

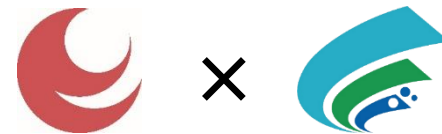
市長定例会見

令和4年7月6日（水曜日）10時00分～

- 1 ひろしま建築学生チャレンジコンペ2022@三原について
- 2 小早川隆景展 ～おかえりなさい。ふるさと三原～について
- 3 夏のDigi田甲子園全国大会出場について



ひろしま建築学生チャレンジコンペ2022@みはら



1 コンペの概要

- ① 対象：全国の建築を学ぶ学生
- ② 内容：消防屯所を題材とした設計コンペティション
- ③ 目的：建築を学んでいる学生が三原市の課題（消防団員の担い手の減少と地域防災力の充実）をどうすれば解決できるかという視点で設計提案を行い、実施設計から建築までのプロセスに関わることで、魅力ある建築物を創造できる人材を育成する。
- ④ 各賞及び賞金：最優秀作品賞（1点）賞金70万円
優秀作品賞（2点）賞金10万円、入選作品賞（2点）賞金5万円など
- ⑤ 審査委員：(委員長)家成 俊勝 建築家／土井 亘 建築家
成田 和弘 建築家／岡田 吉弘 市長／的場 弘明 県総括官
- ⑥ 主催：三原市，広島県

※最優秀作品賞の提案者は、実施設計及び工事監理に関わり、市が選定した設計事務所と提案の実現に取り組む。

2 設計テーマ

“地域の行動変容を促す， 機能的な消防屯所を設計せよ。”

- 少子高齢化社会の現在，消防団員の減少が地域の大きな課題となっている。
- 新設する消防屯所がどのように地域と繋がり，どのように地域を守り，どのように地域に愛されていくか。
- 消防団の「これから」を見据えた，地域の行動変容を促すきっかけとなる，機能的な消防屯所を設計して欲しい。

3 消防屯所の概要

項目	内容
施設名	三原中央方面隊屯所 〔5分団5屯所（東部，中部，西部，南部，西野），2格納庫を統合〕
場所	三原市宮沖三丁目
規模	平屋建て 床面積 約 300m ² 敷地面積 約 1,500m ²
建設費 (想定)	約8,000万円



4 日程

	内 容	日 程
1	応募登録申込受付期間	令和 4年 7月 2日 (土) ~ 9月 9日 (金)
2	提出作品受付期間	令和 4年 9月 9日 (金) ~ 9月15日 (木)
3	一次審査結果発表	令和 4年10月上旬
4	最終審査・結果発表	令和 4年11月12日 (土)
5	建物完成	令和 5年度末 (予定)

5 期待する効果

- コンペに参加する多くの学生が三原を訪れ、三原を知るきっかけになる。
- 将来、建築家などをめざすクリエイティブな人材が、三原の関係人口となる。
- 魅力的な建築物ができることで、地域の資源になる。



【ひろしま建築学生チャレンジコンペとは】（参考）

- 建物完成までの一連のプロセスに関わることができる全国唯一の取組で、著名な建築家による公開審査や公共建築の実践現場体験を通じ、クリエイティブな人材の育成を図ることを目的としています。
- 2018年日本建築学会教育賞（教育貢献）を受賞した事業で、広島県が2013年度から実施し今回で9回目となります。広島市の縮景園事務所棟東トイレや尾道市の瀬戸内海国立公園高見山公園内トイレなどが、これまでに題材とされています。

【県内の事例】



縮景園内事務所棟東トイレ



瀬戸内海国立公園高見山公園内トイレ



県立広島工業高等学校 野球部・弓道部部室

小早川隆景展～おかえりなさい。ふるさと三原～



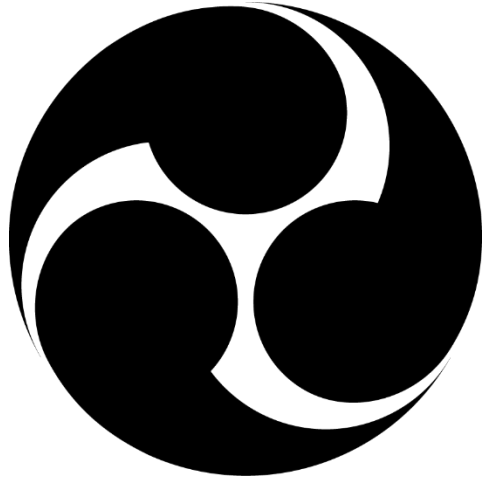
絵画 小早川隆景像

小早川家歴史資料を御披露いたします。

小早川家現当主である小早川隆治氏から譲渡される小早川隆景公の関係歴史資料 8 件と平成29年度に寄附いただいた資料を合わせて展示します。

- 日 時 令和4年7月30日(土)～令和4年8月15日(月)
9:00～17:00 (7月30日は10:00から開場)
- 場 所 リージョンプラザ 展示ホール
- 入場料 無 料

小早川隆景公の「ふるさと三原」



隆景公は、筑前国（現在の福岡県）などでも活躍し、今でも「殿様」と慕われています。

しかし、最後に、終の棲家として選んだのは「ふるさと三原」でした。

1533年	生誕（郡山城・安芸高田市）	（数え年）1歳
1552年	新高山城 入城	20歳
1567年	三原城 築城	35歳
1585年	秀吉から伊予国を拝領	53歳
1587年	秀吉から筑前国などを拝領	55歳
1595年	隠居し、三原城へ帰る	63歳
1597年	三原城にて亡くなる	65歳

隆景公の思いが、資料とともに「ふるさと三原」へ帰ってきます！



小早川隆景公以降の系譜

小早川隆景公から小早川隆治氏まで



絵画 小早川隆景像

↓ 小早川 隆景 (1533~1597)
秀秋 (1582~1602)

小早川家 断絶

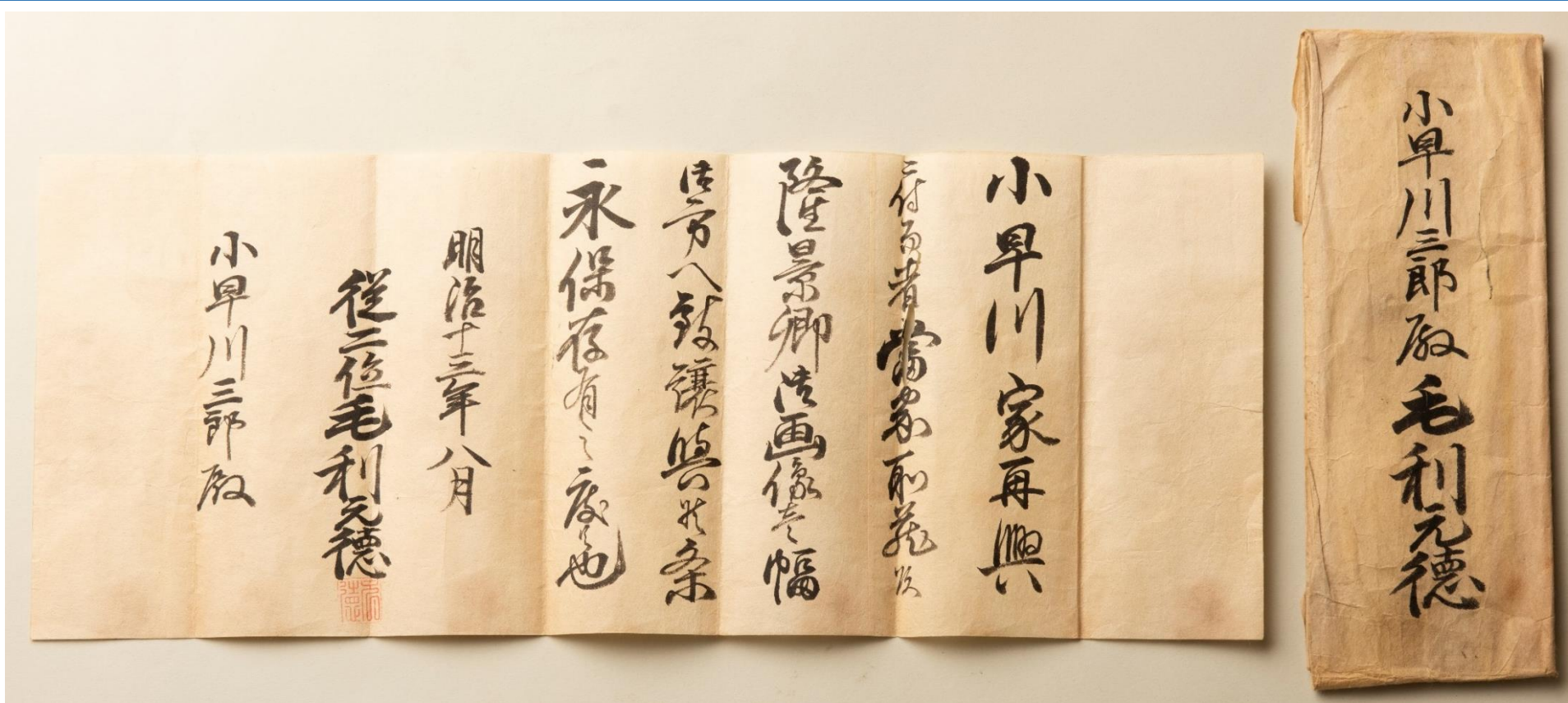
1879年 毛利元徳 (1839~1896) により
《 小早川家の再興 》

↓ 小早川 三郎 (1870~1883)
四郎 (1871~1957)
元治 (1907~1994)
隆治 (1941~)



小早川隆治氏

主な展示資料

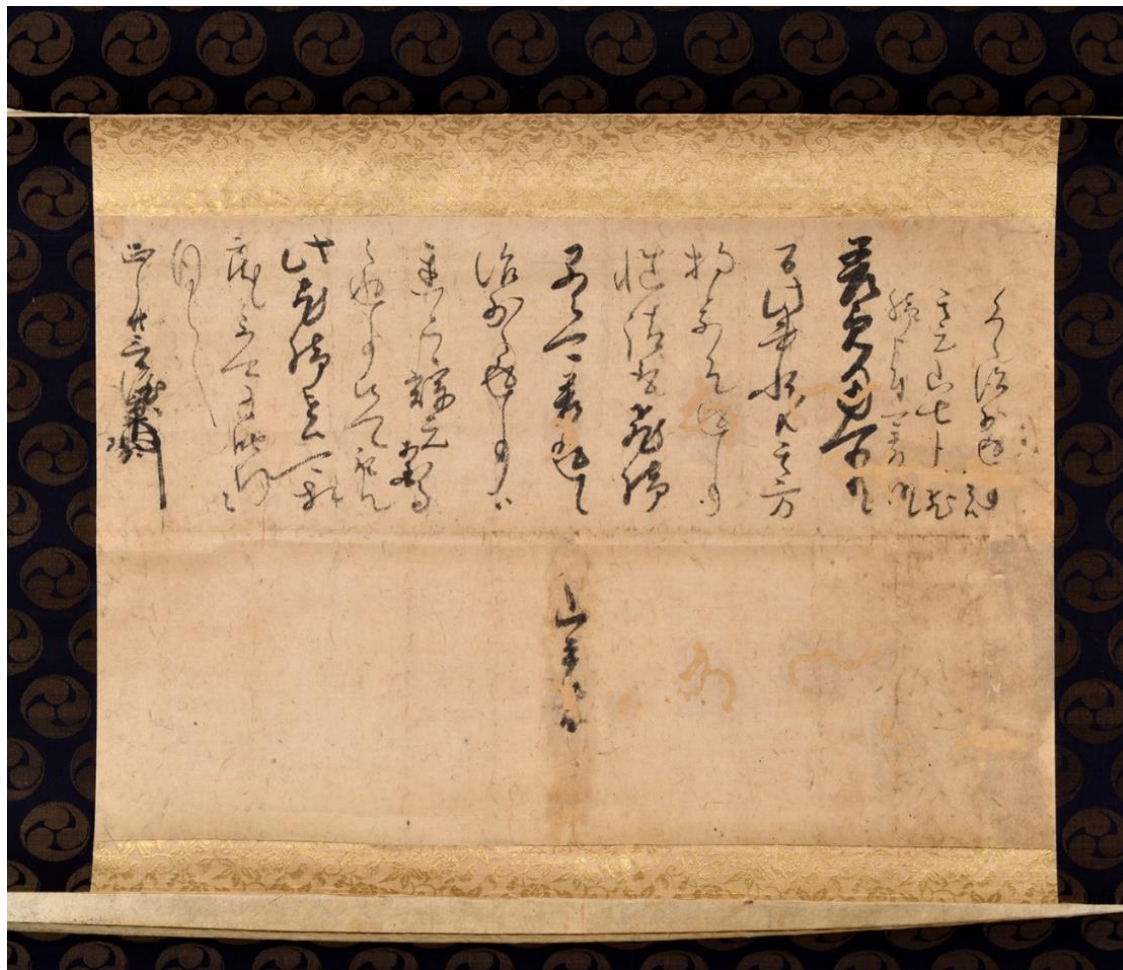


毛利元徳書状

1880年，小早川家再興に際して，毛利家が所蔵する隆景の肖像画を譲り渡すことが記されている。

*毛利元徳書状（もうりもとのりしょじょう）

主な展示資料



小早川隆景書状

小早川隆景公の直筆の書状。
山県平八郎にあてた書状で、急ぎ返事がほしい旨の内容となっており、緊迫した状況が伝わってくる。

主な展示資料



小早川隆景公仮寝図
邨田丹陵筆

隆景公が柱によりかかり、
うたたねをしている姿を描いたもの。



碧蹄館勇戦図
1894年
邨田丹陵筆

1593年、隆景公が、
明（みん）の大軍を敗
走させる大手柄をたてた
「碧蹄館の戦い」の様子を
描いたもの。

主な展示資料（平成29年度寄附資料）



鐙
馬具。騎乗中に乗り手の足を支えるもの。



鉄鎗地六十二間小星兜・面頬
飾りや金具には、小早川家の紋の「左三つ巴（ひだりみつどもえ）」が配されている。

*鐙（あぶみ） *鉄鎗地六十二間小星兜・面頬（てつさびじ ろくじゅうにけん こほしかぶと・めんぽお）

小早川隆景展～おかえりなさい。ふるさと三原～

【 令和4年7月30日(土) 】

10:00～10:20 オープニングセレモニー

11:00～12:00 小早川隆治氏トークショー

10:00～16:00 毛利三兄弟のまち特産品販売
(リージョンプラザ屋外広場)

【 開催期間中 】

サムライゴゼン弁当 (毛利食弁当) 復活！



イメージです



夏のDigi田甲子園 本選 インターネット投票（国民投票）が7月12日開始

三原市も
出場！

期間 令和4年7月12日から8月15日まで

方法 内閣官房ホームページから投票（予定）

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/koushien.html



投票の参考情報

- ①夏のDigi田甲子園Youtubeチャンネル 取組・アイデアの1分動画
https://www.youtube.com/channel/UCHGX3_jBMB3ES0UGqUgxRrg
- ②取組・アイデアの説明資料（PDF） ※上記の内閣官房ホームページに掲載

「夏の Digi 田甲子園」 スケジュール

本選に進出した取組は、政府公
式サイトに1分ピッチ動画を掲載

都道府県予選（～6月）

都道府県ごとに、市町村の
優れた取組・アイデアを選定

本選（夏頃）

国民が
インターネット投票

デジタルの専門家等が
審査

総理大臣が
表彰

夏のDigi田甲子園 本選の概要

夏のDigi田甲子園とは

地方公共団体を対象として、デジタル技術の活用により、地域の課題を解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっている取組を内閣総理大臣が表彰。

表彰の対象とする取組

デジタルの活用により、地域の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や、地域の産業振興につながっているもの。

《具体的な分野のイメージ》

医療

教育

子育て

物流

交通

農林
水産業

中小
企業

観光

防災

誰一人取り残されない社会の実現

内閣総理大臣の出席による“表彰式”を実施

表彰部門

《実装部門》

以下の市区町村の区分ごとに、デジタルの活用によって地域の個別課題を解決している取組のうち、特に優秀と認められるもの。

◎ 指定都市・中核市
・施行時特例市等

◎ 市（上記の市を除く。）

◎ 町・村

《アイデア部門》

上記につながる取組のアイデアとして、特に優秀と認められるもの。

三原市の取組（実装部門・市（指定都市等を除く））

「アナログ×デジタル」で高齢者簡単予約とコロナワクチン迅速処理の実現

60歳以上の市民のコロナワクチン接種予約で、市民との接点はアナログ（郵送でお知らせしてはがきで返信）で行い、市役所の事務処理にデジタル（AI-OCRではがきを読み取り、RPAで集計を自動化等）を活用

